

第4号様式（第8条関係）

議 事 録

会議名	令和3年度 第1回寒川町環境審議会（書面会議）		
日 時	令和3年8月5日（木） ※上記は議題に対する委員の意見の提出期限	開催形態	非公開
場 所	書面会議のため、該当なし		
出席者名 欠席者名 及び 傍聴者数	<p>【委 員】 中門委員、松久委員、中峰委員、八ツ橋委員、大野委員、杉山委員、初鹿委員、相原委員、佐々木委員、今井委員、平本委員、宇條委員、片谷委員、坂本委員、山蔦委員</p> <p>【事務局】 環境経済部：菊地部長 環境課：大山課長、椎野主査、榊原主事</p> <p>【傍聴者】 書面会議のため、該当なし</p>		
議 題	（1）令和2年度版 寒川町環境報告書（案）について		
決定事項			
議 事	<p><b>1 議 題</b></p> <p><b>（1）令和2年度版 寒川町環境報告書（案）について</b></p> <p>事務局より、各委員に対し、資料「令和2年度版 寒川町環境報告書（案）」を送付し、文書にて報告書の内容説明を行い、令和3年8月5日（木）までに各委員より意見をいただくこととした。</p> <p>以降は、いただいた意見に対し町の考えを記載し、取りまとめることによって令和3年度 第1回寒川町環境審議会（書面会議）の議事録とする。</p> <p><b>※各委員よりいただいた意見と、それに対する町の考え（意見の提出された順に記載）</b></p> <p>（山蔦委員） この数年、「環境保護」の考え方が大きく変わってきた。環境問題は、「大気汚染」、「水質汚濁」などのローカルなテーマから、広域の地球規模温暖化やSDGsなどのグローバルなテーマに変わってきた。町の環境基本計画には、この観点を入れて「重点プロジェクト」が設定され、広域で対処する対策が取り入れら</p>		

れた。かといって、「住みやすい町」にするための「身近な住環境」の整備を欠かさすわけにはいかない。

プロジェクトの設定は非常に良いことだと思う。

「数値目標」が設定され、「責任者」がはっきりし、効率的に目標の達成が図られるからである。

(事務局)

「第3次寒川町環境基本計画」へのご意見かと思われる。ご指摘のとおり、近年の環境問題については、公害への対応や衛生的な生活環境の保全といった生活に身近な問題だけではなく、地球温暖化に伴う気候変動が引き起こす自然災害の顕在化やSDGsへの対応など地球規模の環境問題がクローズアップされるようになった。生活に身近な環境についても、騒音・振動などの公害対策をはじめ、良好な自然環境の維持などについて、「第3次寒川町環境基本計画」に基づき適切に対応していく。

重点プロジェクトについても、環境学習などについては新型コロナウイルス感染症の影響もあり、実施が困難な面もあるが、可能な限り数値目標を達成できるよう取り組みを進めていく。

(山蔦委員)

政府は期限を切って「カーボンニュートラル」(CO2排出ゼロ)を達成すると宣言した。壮大な世界を巻き込んだプロジェクトであり、小さな町で対処すべきテーマではない。「こつこつ努力すれば何とかなる」テーマでもない。効果の小さなことに取り組んでも、費用対効果は小さく、無駄遣いになる可能性がある。地方は、独自色を出さず、国の政策に従うのが良いと思う。

(事務局)

カーボンニュートラルは非常に大きなテーマであり、ご意見のとおり費用対効果を良く見極めて取り組んでいく必要があると考える。町もコストアップをせずに美化センター及び広域リサイクルセンターに、二酸化炭素を排出しない100%再生可能エネルギー由来の電力を導入することができたが、国や県と連携を図りつつ、このような取り組みを進めていく。

(山蔦委員)

「環境保護の重要性」の啓蒙や教育は重要だが、軽々に行うわけにはいかない。

「町に緑が多ければ多いほどよい」という意見があるが、町をジャングルにしたいわけではないと思う。阪神大震災で樹木が火災の延焼を止めたことは有名だが、

最適な緑被率やそれに投入する町の人的・金銭的資源について、住民の合意が欠かせない

住民が行う省エネ対策やごみ処理費の削減などは、「費用対効果の高い」テーマなので大いに進めるべきだが、効果の明らかではない「やらないよりやった方がよい」といった事業は慎まなければならない。町の財政はこれから少子高齢化を迎え、またコロナ禍を受けて苦しくなると見込まれるので、無駄遣いは極力避けなければならないからである。

(事務局) 良好な環境を維持していく上で、環境教育は重要な取り組みであると考えている。

町の緑については、昨年度より新たな取り組みとして「寒川町公園等愛護活動実施要綱」に基づく公園愛護会を発足させ、地域住民との協働による美化及び維持管理に取り組む仕組みを構築した。今後も地域住民のご理解とご協力をいただき、緑化活動の推進に取り組んでいきたい。

町の財政はコロナ禍の影響の中で大変厳しい状況にあり、ご指摘のとおり「費用対効果」を見極めながら取り組みを進めていくべきと考えている。

(山蔦委員) このような背景の下、従来の「計画の形」にこだわらず、「そもそも、何のために計画を作るのか」という「原点」から説き起こした、新しい、簡素で緻密な、目的のはっきりした計画に逐次変えていくのが良いと思う。

(事務局) 第3次寒川町環境基本計画については、これまでの絵花的な計画から脱却し、重点化とスリム化を念頭に策定したものであるが、ご意見のとおり「何のための計画か」という原点を踏まえつつ、時代にあったシンプルで分かりやすい計画であるよう、柔軟な見直しや運用を図っていく。

(中峰委員) (令和2年度版 環境報告書) 6ページ、最近はコロナの影響でセミナーや環境バスツアーなどのイベントが中止となることが多いとのこと。オンラインのイベントに切り替えられるものは検討できたらと思う。

	<p>(事務局) ご意見のとおり、オンラインでも開催が可能なイベントについては、そのような形式での開催を検討していく。</p> <p>(中峰委員) 8 ページ、アライグマの防除はどうやってやるのか。動物たちとの平和な共存方法が見つかるとうい。</p> <p>(事務局) アライグマの駆除については、農作物などの被害を受けた町民からの申請に基づき、町で捕獲檻の貸し出しを行い、捕獲された場合は回収処分業者に依頼して、苦痛を伴わない安楽死をさせて駆除している。</p> <p>(中峰委員) 9 ページ、農業と触れ合う機会の創出で、一之宮愛児園の他の園にも機会はあるのか。</p> <p>(事務局) 現時点では、一之宮愛児園のみ。今後、拡大していくかは、畑を提供していただける農家との調整が必要。</p> <p>(中峰委員) 14 ページ、条例啓発ポスターは素敵なポスターなので、もっと周知掲示をしてほしい。以前に道にごみが見受けられたので。ごみ置場に貼るなど。</p> <p>(事務局) 条例啓発ポスターについては、ポイ捨てや犬のフン放置などの迷惑行為を少しでも減らしたいという考えでデザインした。町内の小中学校をはじめとした公共施設や、店舗や病院、コンビニ等に掲示するよう配布しているが、どのように周知掲示すれば有効か、今後検討していく。</p> <p>(中峰委員) 15 ページ、ゴミ野ゲンゾウ見聞録を、広報紙に折り込む以外にも周知できたらと思う。SNS などはどうか。</p> <p>(事務局) ツイッターやフェイスブック、または LINE など様々な SNS を活用して周知に努めていく。</p> <p>(中峰委員) 31 ページ、自主的な環境美化活動とは。</p> <p>(事務局) 自主的に道路や公園などの公共の場所の美化活動に取り組む個人・団体に対して、町はごみ袋の提供や集</p>
--	--

	<p>めたごみの回収などの支援を行っている。その活動を指しており、その回数を環境指標としている。</p>
(中峰委員)	<p>33 ページ、引き続き、ぜひいろいろな場所や SNS 等で周知発信を続けてほしい。</p>
(事務局)	<p>ご意見を踏まえて、今後も様々な機会を捉えて環境に関する情報の周知を行っていく。</p>
(中峰委員)	<p>35 ページ、環境教育や環境学習が軒並み中止になっているので、ぜひオンラインに切り替えられそうなものは切り替えを。</p>
(事務局)	<p>コロナ禍においては、実際に人が集まるイベントの開催は困難であるが、ご意見のとおり、オンラインでも開催が可能なイベントについては、そのような形式での開催を検討していく。</p>
(中峰委員)	<p>36 ページ、小谷小学校のリサイクルセンターの見学について、それぞれの小中学校に周知して平等に行っているのか。</p>
(事務局)	<p>近隣の旭小学校なども見学に来ていたが、遠方の小中学校は地理的に見学に来ることが難しい面もある。これに代わる環境教育として、遠方の小学校へのごみの分別やリサイクルに関する出前講座を開催している。</p>
(中峰委員)	<p>39ページ、湘南エコウェーブについて、藤沢市、茅ヶ崎市と連携して良い取り組みをしているので、もっと協力して周知してほしい。</p>
(事務局)	<p>藤沢市、茅ヶ崎市とは湘南エコウェーブの連携のみでなく、ごみ処理の分野においても密に連携しており、今後もより効果的な周知に努めていく。</p>
(中峰委員)	<p>39ページ、ぶらりごみ拾いinさむかわ2021は開催したのか。</p>
(事務局)	<p>実行委員会である多摩大学と開催に向けて協議を行ってきたが、現時点では年度内の開催は難しいと考えている。</p>

	<p>(中峰委員) 43ページ、農産物直売所マップは町のホームページで見つかるか。意外と知らない人が多いのでは。</p> <p>(事務局) 町のホームページに更新した農畜産物直売所マップを掲載している。効果的な周知方法について、農政課と調整する。</p> <p>(中峰委員) 3キリ運動の周知について、家庭でできる簡単なエコアクションの一つなので、町民に知ってもらえるよう周知に力を注いでほしい。また、マイバッグ利用の啓発について、エコバッグやティッシュの配布はどこで行ったのか。どうしてエコバッグが必要なのかも合わせて知らせると、普及がもっと広がると思う。</p> <p>(事務局) 3キリ運動については、家庭ごみの中でも大きな割合を占める厨芥類のごみの減量化につながる取り組みであり、今後もより積極的に周知していく。エコバッグ等の配布については、12月の地球温暖化防止月間において、役場本庁舎正面玄関前や岡田のスーパー、寒川駅北口などで配布した。また、ご意見のとおり、エコバッグを活用することによって、プラスチックごみの削減につながることを周知していく。</p> <p>(中門委員) 12ページ、小出川の水質悪化についての記載が何もされてないように取られるが、エコネットが協働して「小出川のごみ拾い」を行っているので、追記してはどうか。 また、BODの経年変化のグラフで小出川（追出橋・大曲橋）となっているが、2地点間の違いが見えない。追出橋は上流の藤沢市・茅ヶ崎市の水質そのものであり、大曲橋は岡田排水路や駒寄川の流入がある。グラフを2地点に分けて表示すると分かりやすい。</p> <p>(事務局) 小出川の水質悪化に係る記載であり、小出川に捨てられるごみも水質の悪化に若干の影響があると思われる。ご意見のとおり、「さむかわエコネットと協働で行う小出川等のごみ拾い」について追記する。 BODの経年変化のグラフについては、ご指摘のとおり2地点に分けて記載する。</p> <p>(中門委員) 重点プロジェクトの「ごみ減量とリサイクルの推進」について、近年、業者が設置したごみ回収ステー</p>
--	--

	<p>ションが寒川町にも見受けられる。町環境課が主導して設置したのではと感じた。</p> <p>一例であるが、東岡田に古紙リサイクルステーションが設置され、利用されている。町で行う資源ごみ回収と合わせて、町民が自主的に運び込みできるリサイクルステーションも効果があると思う。</p> <p>このような取り組みも環境報告書に記載できるのではと思う。上勝町の「ゼロウェイスト運動」のように住民が行動するリサイクル、ごみ減量化が参考になる。</p> <p>(事務局) 東岡田の古紙回収ステーションをはじめ、町に設置されている回収ステーションについては、直接、町環境課との関わりはない。ごみの減量とリサイクルの推進に向けて、どのような関わり方ができるのか今後検討していく。</p> <p>行政がごみの収集を行わず、住民自らがごみを収集センターに持ち込み、徹底した分別を行ってごみの減量化とリサイクルの推進に取り組み、その結果80%を超えるリサイクル率を達成した徳島県上勝町の事例は、今後の町のごみ減量化と資源化を推進していく上での参考とさせていただきます。</p> <p>以 上</p>
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和3年度第1回環境審議会（書面） 送付資料の内容説明</li> <li>・ 令和2年度版 寒川町環境報告書（案）</li> <li>・ 寒川町環境審議会委員名簿</li> </ul>
議事録承認委員及び議事録確定年月日	<p style="text-align: center;">書面会議のため、該当なし</p> <p style="text-align: center;">令和3年8月18日（水）確定（当該議事録の決裁日）</p>